

願書の書き方(記入例)

- ペン又はボールペン(黒)で記入してください。
- 訂正する場合は、修正液や砂消ゴムを使用しないで、二重線を引いて訂正してください。

○「氏名・住所」は必ず本人が自署し、「印」を押してください。

- 連帯保証人は、原則家族です。
- 「氏名」等は必ず自署してもらい、「印」を押してください。
- 本人と連帯保証人の印は別であること。

「家族構成」の欄

- 「家族」は本人と生計を一にしている人全員を記入してください。
- 「父母等の被扶養者」欄には、父母等の健康保険又は所得税のいずれかの被扶養者になっている方に「○」印をしてください。
- 就学者は「就学者」欄に記入してください。
 - *「就学者」とは、小・中・高校、高専、短大、大学、大学院、特別支援学校、専修学校(高等課程・専門課程)に在学している人です。
 - *専修学校の一般課程及び各種学校(予備校等)など上記以外の学校に在学する人は「就学者を除く家族」欄に記入してください。
- 「年齢」は願書提出時現在で記入してください。

「所得の種類」は、給与、商業、工業、農業、林業、水産業等該当するものを記入してください。

「収入・売上金額」の欄

- 前年の1月～12月までの年間の収入金額を記入してください。
 - ア. 給与所得者――源泉徴収票の支払金額等
 - イ. 給与所得者以外――確定申告書(控)の収入金額等
- (注)
- ・同一人で2種類以上の所得があるときは、上下2段に書いてください。
 - (例:母子家庭の「給与」と「児童扶養手当」など。)

「特別控除」の欄

- 該当する項目に「○」印をしてください。
- 控除を受けるための証明書類等が必要になります。
- 記入例の場合――「身体障害者手帳」等の写し

様式第1号(第6条関係)

登米市奨学生願書										令和〇年 〇月 〇日		写真添付			
(あて先) 登米市教育委員会 奨学金の貸付けを受けたいので関係書類を添えて申請します。															
在学学校名 登米市立 〇〇中学校				分校				課程・部							
フリガナ トメシ タロウ		登米市太郎		男		生年月日 令和〇年 〇月 〇日生 (満 〇 歳)		健康状態 良好・普通・不良		(不良の場合は、疾病名、通院の状況等を記入すること。)					
住所 (〒 987 - 0602) 登米市中田町上沼字西桜場18		貸付金額 (月額) 10,000 円		希望事項		貸付期間 令和〇年 4 月から 令和〇年 3 月まで									
本籍 登米市中田町〇〇〇〇〇〇〇番地		電話番号 自宅 0220-34-2670		携帯電話等 090-0123-4567		職業 会社員		年収 (税込み) 500 万円							
フリガナ トメシ イチロウ		登米市一郎		住所 (〒 987 - 0602) 登米市中田町上沼字西桜場18		職業 会社員		年収 (税込み) 500 万円							
連帯保証人 (自署押印) 登米市一郎		(続柄: 本人の 父)		生年月日 昭和〇年 〇月 〇日生		職業 会社員		年収 (税込み) 500 万円							
家族構成															
父母等の被扶養者															
続柄		氏名		生年月日		年齢		職業		所得の種類		収入・売上金額 (税込み) 万円		審査所得金額 (税込み) 万円	
父		登米市一郎		SO・〇・〇		44		会社員		給与		503		129	
母		登米市花子		SO・〇・〇		42		パート		給与		347		15	
〇兄弟の母		登米市月子		SO・〇・〇		75		無職		公的年金		50		0	
父母等の健康保険・税法上の扶養親族に該当する場合は○印をしてください。															
[①～⑥の計] 世帯合計審査所得金額 144															
就学者を除く家族															
続柄		氏名		※設置者		※在学学校		※通学別		控除額 万円					
◎本人		登米市太郎						⑧							
〇兄		登米市育郎		国・公 私		小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学(学校法人〇〇大学)		自宅・自宅外		⑨					
〇妹		登米市育子		国・公 私		小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学(登米市立〇〇中学校)		自宅・自宅外		⑩					
				国・公・私		小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学()		自宅・自宅外		⑪					
障害のある人がいる場合															
氏名		続柄		手帳番号		身体障害者 公害疾病・心神喪失・知的障害 長期就床 (状況)									
登米市月子		父の母		1234 567890											
特別控除															
ア		母子・父子世帯(子女が18歳未満及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等)(一律 万円)		⑫											
イ		障害のある人がいる世帯(公害疾病の認定を受けた障害のある人、常に就床を要する要介護の人等)(1人につき 万円)		⑬											
ウ		主たる家計支持者が別居している世帯(別居による住居、光熱、水道、家具及び家事用品の実費)(万円限度)		⑭											
エ		長期に療養を必要とする人のいる世帯(6箇月以上療養中の人又は療養を必要とする人)		⑮											
オ		火災・風水害又は盗難等の被害を受けた世帯(前年から申込時まで被害を受け、今後2年以上の支出増・収入減の年間金額)		⑯											
カ		その他家計を逼迫する事由があると認められる場合		⑰											
[⑧～⑰の計] 控除額合計 ⑱															
市認定欄															
				[⑦～⑱の計] 認定所得金額 ⑲											
				認定世帯人員 人		基準金額 ⑳									

平成〇年分 給与所得の源泉徴収票													
住所又は居所 登米市中田町上沼字西桜場18		氏名 登米市一郎		職名 登米市 一郎		支払金額 5,036,567 円		給与所得控除後の金額 3,824,104 円		所得控除額の合計額 1,448,963 円			
控除対象者の有無等		控除対象者の氏名(本人を除く)		社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		損害保険料の控除額		源泉徴収額の合計額			
有 証 無 証		特 定 老 人 特 別 特 別 特 別		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			
〈控除〉〈控除対象配偶者氏名(扶養親族氏名)〉 年調定率控除額 0 円										配偶者の合計所得額 0 円		長期損害保険料の金額 0 円	
育郎 太郎 育子 月子										受給者の生年月日			

給与収入の場合の審査所得の計算式

収入金額	所得金額
～329万円	0
330万円～400万円	収入金額(万円)－((収入金額×0.2)+263万円)
401万円～878万円	収入金額(万円)－((収入金額×0.3)+223万円)
879万円～	収入金額(万円)－486万円

給与所得以外の場合							
続柄	氏名	生年月日	年齢	職業	所得の種類	収入・売上金額 (税込み) 万円	審査所得金額 (税込み) 万円
父	登米市一郎	SO〇〇	44	自営業	商業	1284	351
母	登米市花子	SO〇〇	42	自営業	専従者給与	92	0

平成 年 月 日 年分の所得税の確定申告書B									
住所 〒 登米市中田町上沼字西桜場18		氏名 登米市一郎		性別 男		生年月日 昭和〇〇		印 本人	
同 上		同 上		同 上		同 上		同 上	
職業 商業等		収入 1284		控除 623		所得 661		第一表	
事業 農業		収入 92		控除 0		所得 92		第二表	
不動産		収入 0		控除 0		所得 0			
配当		収入 0		控除 0		所得 0			
公的年金等		収入 50		控除 0		所得 50			
その他		収入 0		控除 0		所得 0			
短期		収入 0		控除 0		所得 0			
長期		収入 0		控除 0		所得 0			
一時		収入 0		控除 0		所得 0			
事業 商業等		収入 351		控除 92		所得 259		923,228 円	
事業 農業		収入 92		控除 0		所得 92			
不動産		収入 0		控除 0		所得 0			

家庭事情は、本人自筆になります。

学習に対する意欲は、本人自筆になります。

連帯保証人と同一人物でも、必ず自署、押印してください。

進 学 校 名	進学する学校名、学部、学科等を記入すること					
	宮城県〇〇〇					
	入学（予定）	令和〇年	4月	編入（予定）	年	月
家 庭 事 情	奨学資金の貸付けを希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することなどを記入すること。					
	(記入例)					
	父の勤めている会社が不景気により給料が減っており、母もパートを始めましたが、収入が不安定な状況です。					
	また、大学生の兄と、中学2年生の妹がおり、教育にかかる支出が多く、家計が大変苦しい状況です。					
	自分の将来の為に進学して〇〇〇〇〇〇について勉強したいと思っておりますが、進学することで親に金銭的な負担をかけたくないため、奨学金を希望します。					
学 習 に 対 する 意 欲	進学後に取り組んでみたいこと、将来の展望などを記入すること。					
	(記入例)					
	私は将来〇〇〇〇〇〇になるために、〇〇〇〇〇〇について勉強したいと思っております。					
	〇〇〇〇〇〇をめざしている理由は、〇〇〇〇〇〇だからです。					
	そのために私は、〇〇〇〇〇〇高等学校へ進学し、3年間真剣に授業を受け、〇〇〇〇〇〇になるための必要な知識をしっかりと身につけたいと思っております。					
他 の 奨 学 金	受けていない	受けている（見込みを含む）場合				
	受けている (見込みを含む)	奨学会の名称	日本学生支援機構		給付型・貸与型	
		期 間	令和〇年 4月 1日から令和〇年 3月 31日まで		金 額	年額50万 円
	本人が未成年者の場合は、下欄により親権者又は未成年後見人の同意を得ること。					
親 権 者 等	本人が奨学生の申請を行い、奨学生に採用された場合には奨学金の貸付契約を締結することに同意します。					
	住所 登米市中田町上沼字西桜場18 氏名 登米市 一郎 (本人との続柄: 父) ※署名押印すること。					